

今年度の学園祭は、本番前日に「前夜祭」と称して全校生徒参加のイベントで幕を開けました。学園祭タイトル「Screeeam!!」にかけてクラスの見所を叫ぶ「10秒スクリーム」は大いに盛り上がり、最後に全員でタイトルを叫び、学園祭の成功に向けて気持ちを一つにしました。

実行委員会では、「淑徳生としてのプライドをかけ、史上最高峰の学園祭を目指して飛躍する」というタイトルに込めた想いをいかに実現するか、討議が積み重ねられました。その想いは生徒一人ひとりに分かれて優勝を目指し、



高等学校

テーマ: Screeeam!!

●芸能祭 9月23日(月)、24日(火)

●体育祭 9月26日(木)

りに浸透し、妥協することなく自分たちの納得のいくものを作り上げようとがんばった成果が随所に見られました。

芸能祭の大アーチーク部門（演劇・音楽・ミュージカル）は、ここの数年で一番の来場者数を記録し、観客を大いに楽しませました。展示クラスでは、硬派な展示テーマを掲げ、足を運んで調査するという方針のもと、見る人を飽きさせない工夫にあふれています。模擬店は全クラスが出店し、豊富なメニューが並びました。ステージでは、オーディションを勝ち抜いたグループがバンド演奏やダンスを披露しました。中庭は模擬店やステージを楽しむ人で溢れ、終日活気に満ちていました。

生徒会執行部は「巻き込む」ことを目標に、新たな試みを数多く実行しました。パネルフレットの内容一新、インフォメーションの設置、校内案内の充実、クラブ活動紹介展示など。そしてJRCクラブと合同で、チャリティグッズを販売し、完売することができました。また、集客にも力を入れ、この3日間で4000人を超える来場者を迎えることができました。

体育祭では、7つのブロックに分かれて優勝を目指し、

一人ひとりがブロックの代表としての名誉にかけて全力で取り組みました。閉会式では、後夜祭。音楽の演奏やダンスで観客とともに盛り上がり、火舞いの幻想的で美しいパフォーマンスによって幕を閉じました。

姿はこの学園祭で生徒たちの団結が一層深まつたことを象徴する光景でした。

そして学園祭の締めくくりは、後夜祭。音楽の演奏や



学園祭レポート 2013

中学校・高等学校

中学校

テーマ: 進撃の淑女

●芸能祭

10月2日(水)・3日(木)

●体育祭

10月5日(土)

今年度前期生徒会執行部は中学校学園祭の開催に向けて、「一人ひとりが参加できる」「他の学年とつながる」「燃えつきる」を方針に掲げ、意欲的に準備を始めました。この方針に沿った学園祭タイトルを全校生徒から募集し、投票により「進撃の淑女」に決定しました。愛知淑徳は女子校ですが、男子に勝る勢いで学園祭に向かう姿勢を表したもので



年生が下級生を指導し、ま

とは困難です。一人ひとりが協力し、学校全体がつながることで学園祭を盛り上げようとの意味が込められています。

校長先生の「進撃開始」の言葉で芸能祭が始まり、1・2年生は合唱に、3年生は演劇に、各クラスとも全力で取り組みました。



生徒会執行部が中心となりて、アニメ「進撃の巨人」に因んだ「城壁に手をかける巨大阪淑徳生」の壁画と、それに対する戦う淑徳生の看板を設置しました。これも「他の学年とつながる」「燃えつきる」方針に沿って、学年の区別なく皆で協力して制作したものです。

学園祭の最後を締めくくる後夜祭では、バンド、楽器演奏、ダンスなどバラエティ豊かなグループが、それ質の高い演技を披露しました。また、後夜祭実行委員による企画「男装」「ンテスト」では大歓声が沸きおこり、とても好評だったようです。エンディングでは、参加者実行委員、生徒会執行部が一体となって大いに盛り上がり、興奮冷めやらぬなか、今年度の学園祭は幕を閉じました。